

平成 20（2008）年度 新入生向け少人数セミナー

「海岸生物の生活史」

担当：フィールド科学教育研究センター准教授・久保田 信（瀬戸臨海実験所）

自然環境に恵まれ、風光明媚な南紀白浜（和歌山県）に所在する瀬戸臨海実験所の周囲の海岸において、有意義で楽しい実地授業として、多種多様な海岸生物を、様々な生息場所で直接観察・採集し、ラボでの詳細な観察と参考書で特徴を調べ、特製のCDやDVDも使用し、附設の水族館も活用した多角的な実習・講義を通して、それぞれ独特の海岸動物群の一生を知り、「生命の基礎を体得できる」実習（I）・（II）・（III）を、下記のプログラムで行います。

1. 開講とガイダンスなど

5/1（木曜日）

(1) 16:00-17:30 瀬戸臨海実験所 研究棟1F 実習室（和歌山県白浜町）で
所内案内。

(2) 夜にはビデオ（DVD）ライブラリーなどを使用した説明（1）

2. 講義と実習（I）

5/2（金曜日） 9:00-18:00

(1) 田辺湾の岸壁でプランクトン採集、ラボで顕微鏡を用いてプランクトンの同定・観察・スケッチなど。

(2) 漂着生物調査（実験所北浜）の後、採集物の同定・観察・スケッチなど。

3. 講義と実習（II）

5/3（土曜日）9:00-18:00

(1) 水族館で飼育展示の様々な分類群に属する動物の観察・スケッチなど。

(2) 瀬戸漁港で生物観察(1)、および貝寺の展示品の観察。

(3) 漂着生物調査（実験所南浜）の後、採集物の同定・観察・スケッチなど。

4. 講義と実習（III）

5/4（日曜日）9:00-18:00・夜

(1) 番所崎一周の磯観察・採集・同定・観察・スケッチなど。

(2) 漂着生物調査（実験所北浜および南浜）の後、採集物の同定・観察・スケッチなど。

(3) 瀬戸漁港での生物観察(2)。

(4) 特製中の特製ビデオ（DVD）ライブラリーでの説明（2）と反省会を開催

5. レポート作成

5/5（月曜日）9:15-12:00

レポートなどの作成と提出 <これで成績を評価します>。

実習室と宿泊部屋の後片付けと掃除。

6. その他の注意事項など

- ・ 開講日は集合時間の厳守。〈水族館入り口の事務室で実習室の場所を聞いて下さい〉
- ・ 自分の車等での参加は許可しません。JRやバスを利用して下さい。交通費がかかりますので安全で便利な方法を各自で選んで下さい。
- ・ 天気等の都合により日程・実習場所などを変更する場合があります。
- ・ フィールドでは、海での服装（防寒用のウインドブレーカーや日焼けに注意）・雨具あるいはカッパ、および懐中電灯が必要。
- ・ 長靴は瀬戸臨海実験所に備えてありますが、自分が持っているすべらない運動靴をはいてそのままフィールドに出るのがよいですくぬれるので換えは持参して下さい。
- ・ 文房具やメモ・レポート作成に必要なものを持参して下さい。
- ・ 参加者は緊急時の連絡のため、携帯電話等連絡方法を来所日に提示して下さい。
- ・ 万が一の事故に備え、生協などで各自必ず保険〈学生教育研究災害傷害保険〉に入っておいて下さい。

7. 経費

- ・ 瀬戸臨海実験所における実地実習 5/1-5（4泊5日）にかかる経費が約1万円。
内訳は、宿泊費（1泊500円+シーツクリーニング代1回分1000円）+全食費代（5/1夕食から5/5朝食まで）約¥6,000
- ・ 交通費が自己負担で必要です。

この経費は、「瀬戸臨海実験所利用申込み規定」により、支払いは実習開始までとなっております。この支払い後には、いかなる理由であれ、受講をキャンセルされた場合、経費は返却できませんので注意して下さい。

8. 教科書など

「宝の海から 白浜で出会った生き物たち」紀伊民報 2006年発刊・発売元ですが、”京大生協ルネの京大職員制作出版コーナー”で販売しています。顕微鏡的生物からクジラまで、101話（B5版233頁）のさまざまな生物たちの博物学的な読み物（540種登場）。生活史に焦点をあて、図も豊富です。読んで、見て、ためになる、楽しい本で、定価¥2000。他の拙著やCD/DVDもあわせてルネでどうぞ入手して下さい。